# **特別支援教育に関しご家族からよく寄せられる質問**

**2021年8月**

初等中等教育局（以下、教育局）は、特別支援教育と新型**コロナ**ウイルスによるパンデミックに関連する新しい情報や更新情報を提供し続けています。この「よく寄せられる質問（FAQ）」は、生徒とその保護者に、学校や学区と有意義な関わりを持つための情報を提供することで、保護者に権限を与え、IEPチームのプロセスに積極的に参加できるよう支援することを目的としています。

教育における保護者関与の目的は、生徒、ご家族、教育者、そして地域社会の間に真の関係を築くことです。肯定的な関係と責任を共有することで、保護者に精神的な安らぎを与え、お子様の学業成績の向上および幼少期から成人期までの健全な心身の発達を支えます。

* *効果的な家族関与は、文化面に対応し、協力的かつ公平で、多様言語、規範、価値観を尊重したものです。*
* *効果的な家族関与は、参加を阻む障壁を取り除こうとするもので、学校、地域社会、そして生徒が生活し、学習する場所で行われます。*

***Q.コロナ禍でも変わらなかったことは何ですか*？**

* 学区は、個別教育プログラム（IEP）を持つ生徒に、無料で適切な公教育（FAPE）を提供しなければなりません。
* IEPを持つ生徒は、IEPで合意されたすべての特別教育サービスを受ける必要があります。
* IEPと評価の実施期間は変わっていません。
* 学区は引き続きIEPチームミーティングを開催しなければなりません。保護者の同意があれば、IEPチームミーティングは、電話および／またはビデオなど、仮想的に（バーチャルで）開催することができます。
* 学区は、3歳と4歳のお子様と、幼稚園に入園する年齢のすべてのお子様を対象に、就学前の審査を完了することが義務付けられています。
* 学区は、早期介入プロバイダーからの紹介を所定の期限内に受け入れ、それに基づいて対応しなければなりません。

***Q.混合型（ハイブリッド）の学習や遠隔学習の期間中の子供の様子をIEPチームに理解してもらうにはどうしたらよいでしょうか？***

特にこの時期は、遠隔的学習が困難な状況も含めて、お子様の学習体験に関し新たな洞察が得られる可能性があるため、保護者のご意見は常に貴重で重要です。お子様の学習面、感情面、社会面での健全性における、お子様の関与度、注意力、態度、進歩、スキル、ご家庭での経験、その他の観察事項を含めお子様のニーズに関し、ご存じの事柄を共有して頂くことは重要であり、学校がお子様のニーズをよりよく満たすために大変役立ちます。これらの情報をどのように共有するのが最適なのか、お子様の担任の教師や特別支援教育担当者に相談されることをお勧めします。

* 新型**コロナ**ウイルスによるパンデミックがお子様に与えた影響に関する情報をご共有下さい。
* お子様の日常生活に関する情報をご共有下さい。
* お子様が今までどのように学習してきたかについての情報をご共有下さい。
* 学校に戻ることに対するお子様の気持ち、スケジュールの変更、お子様の学校生活に影響を与える可能性のあるご家庭や学校での変化や直面している課題などについての情報をご共有下さい。

***Q: 学校は2021-2022年度に「新型コロナウイルスに対応する特別教育学習計画」を使用しますか？***

いいえ、学校はIEPを使用しなければなりません。

***Q: 学区は、引き続きバーチャルIEPチームミーティングを開催することができますか？***

はい。 同意していただければ、IEPチームミーティングは、電話および／またはビデオミーティングとして開催することができます。手続き上の保護措置は、バーチャルで開催される会議でも変わりません。例えば、学校や学区は、必要に応じて、IEPチームミーティングのために通訳を提供し、文書を翻訳する必要があります。

***Q:*** [***IEPチームのメンバー***](https://sites.ed.gov/idea/regs/b/d/300.321)***の一人が、子供のIEPチームミーティングに出席できない場合はどうすればよいですか？***

IEPチームメンバーの一人が対面で出席できないが、バーチャルまたは電話で出席できる場合は、IEPチーム委員長は、会議の前に、保護者にどのIEPチームメンバーがバーチャルまたは電話で出席するかをお知らせ致します。

* IEPチームメンバーが、直接、電話で、またはバーチャルで会議に出席できない場合でも、以下のような場合には、チーム会議への参加から免除されることが可能です。
* 保護者と学区が、IEPチームメンバーの教科課程（カリキュラム）または関連サービスの分野が変更または議論の対象にされていないため、当該メンバーが会合に出席する必要がないことを書面で合意した場合；*または、*
* 保護者と学区が、IEP の会議に先立ち、チームメンバーがIEPの作成に関する情報を書面によりIEP チームに提供できることに対し書面上で合意した場合。

***Q: 生徒やスタッフが隔離されなければならない場合でも、評価の実施期間は有効ですか？***

はい、評価の実施期間は引き続き有効です。学校や学区は、これらの実施期間を延長する必要がある場合は、保護者に連絡することを奨励されています。例えば、あなたのお子様や評価する担当者が隔離されている場合は、評価期間の延長に同意することができます。

***Q.現在、子供のIEPに含まれていない新たな特別教育サービスが必要な場合はどうすればよいですか？***

精神的な健康面のニーズを含め、お子様に障害が疑われる新たな領域に対処するために、新しいサービスが必要であると思われる場合、該当の懸念事項を共有し、そのサービスについて話し合うため、IEPチームミーティングを要求することができます。また、新たなサービスが必要かどうかを判断するために、さらなる評価および／または再評価を要求することも可能です。

***Q.子供のIEPにある特別教育サービスが欠陥していた場合はどうすればいいですか？***

お子様が、IEPに記載された特定の特別教育サービスを受けていなかった場合、2020-21年度または2020年度の春の時点で、パンデミックに起因する問題のためにお子様が補償サービスを必要とするかどうかを判断するためのIEPミーティングを要求することができます。このようなサービスを受ける資格は、個々の状況とお子様のニーズに基づいています。あなたのお子様が必要とするサービスについて意見が一致しない場合は、特殊教育控訴局（Bureau of Special Education Appeals）で適正手続審問（デュープロセス・ヒアリング）を要求するか、同省の[問題解決システム](https://www.doe.mass.edu/prs/)オフィスに苦情を申し立てることができます。

***Q.英語学習者である子供をサポートするための詳細情報はどこで得ることができますか？***

当教育局は、英語学習者サービスに関する資料を同局のウェブサイト<https://www.doe.mass.edu/ele/>で提供しています。学区は、障害のある英語学習者に対し、州法および連邦法に基づいて権利が与えられている英語学習者サービスおよび特別教育サービスの両方を提供しなければなりません。お子様のサービスに関しご質問や懸念がある場合は、ご遠慮なく担任の先生やその他の学校関係者にお問い合わせください。

***Q.学区とのコミュニケーションはどのように取ればよいですか？***

お子さまの担任の先生と定期的に連絡を取りたい場合は、担任の先生に連絡して計画を立ててください。電話や電子メールなど、ご自分に合った方法を選択してください。また、必要に応じて学校の他のスタッフに連絡を取り、質問や懸念事項を相談することもできます。英語以外の言語を母国語とし、学校とのコミュニケーションのために翻訳や通訳サービスが必要な場合は、ご遠慮なくお子様の学校にお知らせください。

***Q.質問がある場合、誰に相談すればよいですか？***

お子様の担任の先生、学校区の連絡先、IEPチームの委員長、あるいは校長や進路指導者（ガイダンス・カウンセラー）などの学校関係者に連絡することができます。

***Q.その他の資料はどこにありますか？***

初等中等教育局の特別教育ウェブページに関する情報は：<https://www.doe.mass.edu/sped>

初等中等教育局の生徒および保護者向けの情報専用ウェブページは： <https://www.doe.mass.edu/StudentsFamilies.html>でご閲覧になれます。